

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	西蔵王公園	指定管理者	西蔵王施設管理共同体
所在地	山形市大字岩波～上桜田	県担当課 (電話番号)	村山総合支庁都市計画課 (023-621-8220)
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況					
① 管理・運營業務の履行状況	・管理について、管理水準に基づき実施し、芝刈り・樹木剪定・巡回清掃は水準を上回る作業を行い、7箇所あるうち主要なトイレでは管理水準の約10倍清掃やプランター花を設置することで、景観・衛生面の確保をし快適な公園の利用に繋がりました。 ・開園前に色あせた案内看板・注意喚起看板を見えやすく張り直したり、利用が多く見込まれる9月の連休前に北・南入口看板を設置して、利用者へ理解や把握を容易にできるようにいたしました。 ・運営については利用者ニーズを汲み取りペット同伴入園を継続して行い新規利用者に努めました。 ・キャンプ場予約の際は、利用調整や利用案内・注意事項等を丁寧に説明するとともに、当直職員がきめ細やかな巡回指導を行うことで安全管理に努めました。	評 価	B	《評価の理由》 ・維持管理水準書に基づき、適切な管理運営を行っている。 ・利用者の安全性、利便性を継続的に確保するため、施設・設備の修繕等に取り組んでいる。	
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・県により遊具等の更新がされておりますが、耐用年数を超過している遊具（滑り台等）があり、劣化が進行している状況です。また、遊具以外にも案内看板・長椅子・森の遊び場トイレ手摺り等の木材が腐朽が進行しております。	《課題等の原因分析》 ・施設整備後35年以上経過しており、施設・設備の老朽化が進行している。			
課題、問題点への今後の対応	・指定管理者においては、利用者の安全確保及び設備故障等によるサービス水準低下の防止を図るため、常日頃から適切な点検を行うとともに、小規模な修繕を適宜実施していく。 ・大規模な修繕や更新等が必要となる施設については、利用者の安全性や利便性が損なわれることがないよう、県において計画的な修繕・更新を行う。				
2 利用者からの要望等への対応					
① 意見・要望等及びその対応状況	利用者の方より①ペット同伴入園を継続してほしい②案内図が見えない③日陰になる休憩施設がほしい要望に対して以下のとおり対応しました。 ①一昨年度よりペット同伴運用を開始し、延べ527匹の犬との来園がありました。おしっこ・ふんの後始末やリード装着等など注意喚起を看板にて行い、ペット同伴以外の来園者にもふれあえるなどの喜びの声もいただきました。来年度も同伴可を継続します。 ②案内掲示板や標識等は設置から28年以上経過し、木材柱部分腐食など劣化が著しく、撤去や支柱補強で対応している状況です。県へ継続して予算要望をしました。 ③近年の猛暑や温暖化により熱中症のリスクが高まっているため、利用者が多く集まる場所に休憩施設の設置を県へ相談しております。	評 価	A	《評価の理由》 ・利用者からの意見や要望を把握し、課題の改善及び解決、利用者拡大に向けて積極的取り組んでいる。	
意見・要望等への今後の対応	・今後とも利用者ニーズの把握に継続的に取り組み、サービスのさらなる向上につなげていく。 ・利用者からの要望等については、より一層利用者の方々に寄り添った対応を心がけていくとともに、各施設の安全な利用方法について再度検証し、運営方法等の改善を図っていく。				
3 指定管理者制度活用の効果					
① サービスの向上	・自主事業については、立地特性を生かした企画としてお子様参加型4教室、親子参加型2教室、健康維持増進型2教室の8企画を開催しました。季節に合わせてりどなたでも参加できるよう工夫し、広大な自然環境の中で非日常体験を思い思いに楽しんでいただきました。 ・自主事業に合わせてキッチンカーや飲食売店を出店したり、利用者が多く見込まれる土・日・祝日に合わせて自動販売機の補充を事前に連絡し欠品にならないよう努めました。 ・イノシシによる被害があった芝生広場に事前対策として、3月下旬から開園前まで被害のあった延長300mに電気柵を設置するほか、熊などの侵入防止対策とし中央駐車場②・森の遊び場・キャンプ場周辺へウルフビーを開園前から設置し害獣侵入の安全管理に努めました。	評 価	A	《評価の理由》 ・本公園の立地特性を活かした多様な自主事業を企画し、利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる。 ・害獣侵入防止対策に取り組んでいる。	
② 経費の節減	・運動公園を含めた2公園共同の自主事業を主とした案内チラシ95,000部を作成し、幅広く宣伝を行い広告費を削減しました。 ・自主事業については、施設企業共同体の有資格者を講師として1教室開催し講師費の削減へ繋がりました。 ・キャンプ場や芝生広場外灯をタイマー設定にて点灯するほか、2箇所のトイレにLED照明と人感センサーを取付けたことで電気料削減に努めました。 ・水の使用量削減については、日常巡回にて蛇口の締め忘れ確認の徹底や節水を張り紙などで利用者に協力を促しました。 ・29年度よりやまがたecoマネジメントシステムに移行し、引き続き環境負荷の削減に取り組みました。	評 価	B	《評価の理由》 ・経費削減に繋がる修繕等を計画的に実施している ・自主事業の講師として、企業体内の有資格者を活用し、経費を抑えている。	
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・公園を核とした地域コミュニティ活性化を図るため、地産地消の取り組みから花苗を地域の県立高校から購入し、「未来の公園づくり」として花壇への植栽を協同で春に1回実施しました。 ・ボランティア団体である山桜探究会により、カワズザクラ3本、青ダモ5本の手入れとして年2回の除草や肥料散布等を実施していただき活動の場を提供しました。今年で13年目となる地域遺産「神尾古道」の整備活動を地域の4団体9名と共同で行い、交流の場として提供しウォーキング等で継続利用していただきました。 ・自主事業においては、講師に地域住民の人材を活用して開催しました。	評 価	B	《評価の理由》 ・自主事業等の実施にあたり地域の方々と連携するなど、公園施設を活用した地域の活性化に取り組んでいる。	
総合的な評価	・公園の管理者として責任感を持って日々の業務にあたっており、全体として適切に管理運営がなされている。 ・利用者ニーズの把握に努め、サービスの向上に主体的に取り組んでいる。 ・地域住民と一体となった公園づくりを行うなど、地域の活性化に貢献している。				

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注）検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。